

平成22年9月10日

貧酸素水塊速報 (2010年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター
神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

〔協力〕 千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年9月6日観測結果

ほぼ無酸素な水塊は、依然として内湾中央部で広範囲かつ鉛直的に厚く分布しています(図1,2)。また、貧酸素水塊の規模も例年以上を保っています(図3)。図中 点では、底層水が硫黄臭となっており、青潮を引き起こす硫化物が生成・蓄積されている模様です。今後、強い風が吹きますと風向きによっては、ほぼ無酸素な水塊が浅場へ移動しますので注意して下さい。

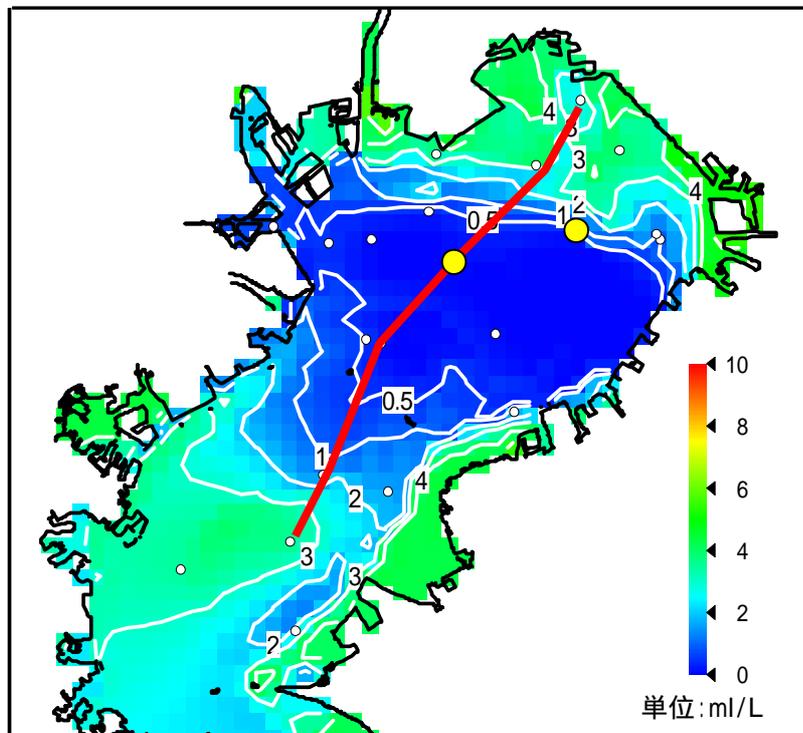


図1 底層の溶存酸素量の分布(赤線は縦断ライン)

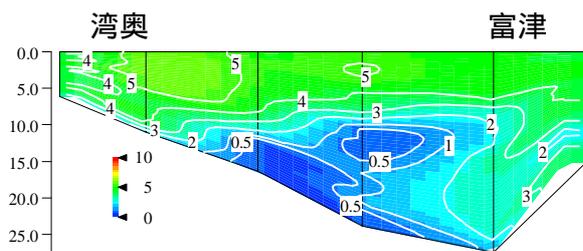


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

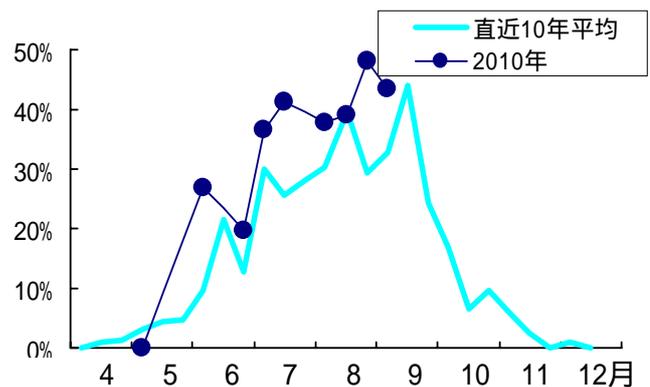


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)